

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	共生型放課後等デイサービス夢ふうせんほんごう		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高齢者との共生型事業所のため、多世代との交流ができる。	多世代との交流を深めるため、同じレクリエーションや会話ができるよう、職員が間に入ることを意識している。また、高齢者との関わりの中で社会性を身に付けられるよう、積極的に高齢者と会話できる機会を作っている。	未経験の取り組みにも積極的に関わられるよう環境作りをし、体験型のサービス提供を増やしていく。
2	地域住民やボランティア団体との関係が強い。	より社会性の高まりや体験を通して興味の幅を広げるきっかけになるよう、外部より様々な活動をされている団体を招き入れる。	お越しいただけるボランティア団体の層を厚くし、様々な体験ができるようにする。体験を通して豊かな感情を育て、意思表示できるよう支援していく。
3	地域性もあり、事業所周りに畑や緑が多く存在しているため、創作活動や自然に触れる機会を得やすい。	事業所敷地内の畑にて野菜を育て収穫するなどの活動を実施している。この活動を通じて創作することの楽しみや成功体験、豊かな感情の形成に繋がっている。	事業所敷地内のみならず、近隣の自然に触れる機会を作り、新しい体験を提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	共生型のため、同世代の利用者様がいない。	地域性もあり、登録利用者様が少ない。そのため、放課後等デイサービスに特化した活動よりも、高齢者との共生を意識した活動となっている。	利用ニーズがあれば積極的に受け入れをしたり、当社の特色の一つである、職員の子育て支援への理解を活かした、同年代との関わりもできる機会を持って取り組んでいく。
2	利用者様が少ないため、学校との連携が希薄になりがちである。	利用者様が少ないため、学校と関わる機会(送迎時等)も少ない。そのため、情報共有が後手になってしまったり、うまくいかないケースが起り得る。	事業所から積極的に学校へアプローチをかけ、情報共有する場や学校での利用者様の様子を見る等の機会を設ける。その活動を通してよりスピーディーに適切な支援ができるようになると考えている。